



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アサント

コード番号 6073 URL <http://www.asante.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宗政 誠

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 飯柴 正美

TEL 03-3226-5511

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,897	5.3	852	5.2	847	4.9	549	10.3
27年3月期第1四半期	3,700	0.3	809	△8.9	807	△9.0	497	9.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	44.49	—
27年3月期第1四半期	40.80	40.41

(注) 28年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	13,614	9,422	69.2
27年3月期	12,749	9,268	72.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 9,422百万円 27年3月期 9,268百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,618	7.1	1,648	△2.4	1,662	△1.7	1,070	1.3	86.74
通期	13,900	9.7	2,600	13.1	2,606	10.9	1,661	17.7	134.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	12,341,900 株	27年3月期	12,341,900 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	68 株	27年3月期	— 株
----------	------	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	12,341,844 株	27年3月期1Q	12,201,547 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、円安・株高が進行し、企業収益が向上、雇用環境も改善されるなど、緩やかな回復基調となりましたが、個人消費は、消費税率上げの影響や円安に伴う物価上昇等を背景に改善の動きは弱く、依然として先行き不透明な状況となりました。

当社市場におきましては、既存家屋に対する長寿命化と防災面も含めた保全意識は依然として高く、これが白蟻防除を主軸とした当社事業にフォローとなっていると見ておりますが、消費者マインドの回復ペースは鈍く、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような状況下において、当社は平成27年4月に奈良支店を新規開設し、営業エリアを21都府県に拡大いたしました。営業戦略といたしましては、例年同様、積極的な広告宣伝・販促活動を展開して、新規白蟻防除並びに関連サービスの需要開拓を推進するとともに、前年同期間において「買い控え」が見られた既存顧客向け営業においても積極的な販売に努めました。

組織戦略といたしましては、より厳しさを増すと見られる採用環境のなかで優秀な人材の増強を図るため、人事本部を設置し、担当取締役を配置いたしました。また、平成27年6月に、ガバナンス強化のため社外取締役を増員いたしました。

この結果、売上高は前年同期比196百万円増(同5.3%増)の3,897百万円となりました。損益面では、人員増、拠点増に伴う費用の増加等がありましたが、営業利益は前年同期比42百万円増(同5.2%増)の852百万円、経常利益は前年同期比39百万円増(同4.9%増)の847百万円となりました。また、四半期純利益は前年同期比51百万円増(同10.3%増)の549百万円となりました。

#### (経営成績に関する特記事項)

当社の業績(特に利益)は、第2四半期累計期間に偏重する傾向があります。これは、例年5月をピークとして4月から7月頃まで、白蟻の活動が活発化し、主に白蟻防除の受注件数が増加するためであります。この季節的変動により、四半期会計期間末ごとの財務内容、経営指標にも変動が生じます。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末比865百万円増加して13,614百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加、売掛金の増加等によるものであります。

負債は、前事業年度末比711百万円増加して4,192百万円となりました。主な要因は、長短借入金の増加、未払法人税等の増加、賞与引当金の増加等によるものであります。

純資産は、前事業年度末比154百万円増加して9,422百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は69.2%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は今後も、堅強な経営体制ならびに財務体質を基盤として、着実に新規営業エリアの開拓、既存エリアの深耕を図るとともに、当社並びに当社事業の認知度向上に努めてまいります。また、営業活動や管理業務等の効率化に努め、一層多様化するニーズに、より質の高いサービスでお応えする体制を構築してまいります。

人員の採用と育成、活用に関しましては、西日本を中心として積極的に増員を図るとともに、平成27年3月に完成した三ヶ日総合研修センターを含む2箇所の研修センターを活用した高効率の社員教育によって、優秀な人材の育成に努めてまいります。

利益面では、上半期においては、人員増、拠点増に伴う諸費用の増加や減価償却費増加等の他、広告宣伝費の増加を計画しているため、利益率が前年同期間比若干低下いたしますが、人材育成と消費者マインドの着実な回復に伴い、新規受注の増加を主軸とした売上高増加に努めることにより、通期で利益増並びに利益率向上を図ってまいります。

以上により、通期の業績につきましては、売上高は前期比1,230百万円増(同9.7%増)の13,900百万円、営業利益は前期比300百万円増(同13.1%増)の2,600百万円、経常利益は前期比257百万円増(同10.9%増)の2,606百万円、当期純利益は前期比249百万円増(同17.7%増)の1,661百万円を見込んでおります。また、1株当たり当期純利益は前期比16.8%増の134円63銭を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,021,289	5,189,545
売掛金	1,687,206	2,285,350
製品	54,142	51,558
原材料及び貯蔵品	112,494	121,407
その他	267,556	353,813
貸倒引当金	△1,687	△228
流動資産合計	7,141,002	8,001,446
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,796,590	1,779,100
土地	2,952,605	2,952,605
その他(純額)	242,039	231,811
有形固定資産合計	4,991,235	4,963,517
無形固定資産	39,171	41,702
投資その他の資産		
その他	632,291	661,752
貸倒引当金	△54,016	△53,560
投資その他の資産合計	578,274	608,191
固定資産合計	5,608,681	5,613,411
資産合計	12,749,683	13,614,858
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	243,464	307,113
短期借入金	70,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	421,080	446,080
未払法人税等	257,701	371,225
賞与引当金	255,208	429,100
その他の引当金	—	10,000
その他	969,090	1,125,360
流動負債合計	2,216,546	2,848,878
固定負債		
長期借入金	668,318	738,048
役員退職慰労引当金	471,050	475,309
資産除去債務	65,794	66,559
その他	59,320	63,336
固定負債合計	1,264,482	1,343,253
負債合計	3,481,028	4,192,131
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,156,410	1,156,410
資本剰余金	856,410	856,410
利益剰余金	7,255,834	7,409,999
自己株式	—	△92
株主資本合計	9,268,654	9,422,726
純資産合計	9,268,654	9,422,726
負債純資産合計	12,749,683	13,614,858

## (2) 四半期損益計算書

## 第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,700,874	3,897,493
売上原価	1,037,370	1,087,020
売上総利益	2,663,503	2,810,472
販売費及び一般管理費	1,853,539	1,958,448
営業利益	809,964	852,023
営業外収益		
受取利息	233	292
売電収入	—	614
その他	5,741	1,362
営業外収益合計	5,974	2,269
営業外費用		
支払利息	3,406	2,904
支払手数料	1,308	2,434
その他	3,313	1,568
営業外費用合計	8,028	6,907
経常利益	807,910	847,386
特別損失		
固定資産除却損	20,490	—
特別損失合計	20,490	—
税引前四半期純利益	787,420	847,386
法人税、住民税及び事業税	253,000	355,038
法人税等調整額	36,537	△56,758
法人税等合計	289,538	298,280
四半期純利益	497,881	549,105

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。